

第 2 回 KPU シンポジウム報告書

2012 年 5 月 1 日（火）、京都薬科大学・躬行館 T31 講義室において第 2 回 KPU シンポジウムを開催いたしました。特別講演として金沢市立病院・薬剤室長の河原 昌美 先生をお招きして、「臨床現場の不思議からのメッセージ」という演題でご講演頂きました。また、一般講演として岩崎 宏樹 助教、吉川 豊 講師、飯居 宏美 助教、辻本 雅之 講師および勝見 英正 助教の 5 名の学内若手教員による最新の研究成果について発表して頂きました。会場である T31 講義室の収容人数は 402 名ですが、開始時には満席となり多くの学生や教員が立ち見となるほど大勢の方にご参加頂きました。参加者総数は、実に 768 人と前回の 2 倍以上でありました。内訳としては、1～3 年次生が 122 名、4～6 年次生が 572 名、大学院博士前期課程学生が 4 名、博士後期課程学生が 13 名、研究生が 1 名、ポストドクターが 1 名、外部参加者 1 名および教職員が 54 名であり、予想を超える大勢の方にご参加いただきました。また、シンポジウム終了後、向かいの T32 講義室で開催した交流会では、特別講演演者の河原先生や一般講演演者の先生方を囲んで質問をしている多くの学部学生で賑わっておりました。交流会は 18 時過ぎまで続きました。今回も多くの先生方から多大なご協力を頂きましたことを深謝致しますとともに、今後とも引き続きご協力頂きますようお願い申し上げます。

KPU シンポジウム実行委員会一同

第2回 KPU シンポジウム概要

日時：2012年5月1日(火)13:30～16:35

場所：京都薬科大学・躬行館 T31 講義室

【プログラム】

開会の挨拶

乾 賢一 学長

特別講演 (1) 13:30 - 14:20

座長：後藤 直正 副学長

「臨床現場の不思議からのメッセージ」

河原 昌美 先生(金沢市立病院)

一般講演 (1) 14:30 - 14:55

座長：赤路 健一 教授

「新規反応に魅せられて～ヨウ化サリウムを用いたラジカル反応の開発～」

岩崎 宏樹 助教(京都薬科大学・薬品製造学分野)

一般講演 (2) 14:55 - 15:20

座長：加藤 伸一 准教授

「生活習慣病治療を目指した新規金属錯体の開発研究」

吉川 豊 講師(京都薬科大学・代謝分析学分野)

一般講演 (3) 15:20 - 15:45

座長：奈邊 健 准教授

「アポトーシスではない新規の細胞死機構を利用した抗癌剤の開発」

飯居 宏美 助教(京都薬科大学・臨床腫瘍学分野)

一般講演 (4) 15:45 - 16:10

座長：安井 裕之 教授

「末期腎不全患者の肝代謝 ～代謝が早くなる？ 遅くなる？～」

辻本 雅之 講師(京都薬科大学・臨床薬学分野)

一般講演 (5) 16:10 - 16:35

座長：長澤 一樹 教授

「骨疾患を対象とした新規 DDS 製剤の創製」

勝見 英正 助教(京都薬科大学・薬剤学分野)

閉会の挨拶

小暮 健太朗 教授



乾学長による開会の辞



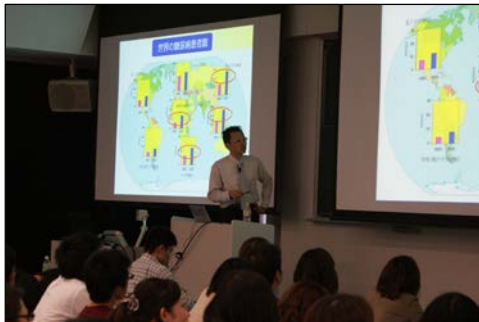
河原先生による特別講演①



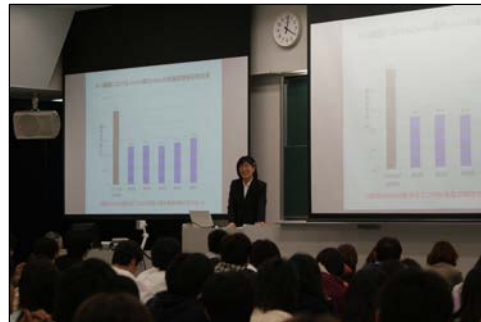
河原先生による特別講演②



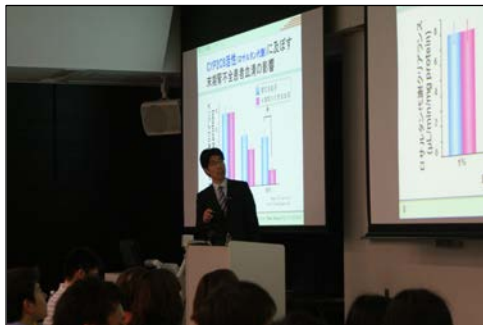
岩崎助教による一般講演



吉川講師による一般講演



飯居助教による一般講演



辻本講師による一般講演



勝見助教による一般講演



小暮教授による閉会の辞



交流会の様子